



紀宝町

議会だより

平成20年12月1日発行（第10号）



熊野川

議 会 日 誌

平成20年7月～9月

- | | | | |
|-------|---------------------------------------|-------|---|
| 7月 9日 | 熊野川河口に橋を架ける会要望活動（三重県庁） | 27日 | 紀南介護保険広域連合議会（熊野市） |
| 11日 | 近畿自動車道紀勢線〔熊野市・新宮間〕建設促進期成同盟会総会（紀宝町） | 28日 | 紀南環境衛生施設事務組合議会（新宮市） |
| 14日 | 三重県町村議会議長会理事会（紀北町） | 29日 | 教育民生常任委員会 |
| 15日 | 全員協議会 | 9月 3日 | 全員協議会 |
| 16日 | 熊野川河口に橋を架ける会要望活動（和歌山県庁） | 4日 | 紀宝バイパス建設促進要望活動（中部地方整備局・国土交通省・財務省）〔5日まで〕 |
| 17日 | 熊野川流域ダム湖下流団体協議会総会（新宮市） | | 熊野川河口に橋を架ける会要望活動（中部地方整備局） |
| 24日 | 熊野川河口に橋を架ける会要望活動（近畿地方整備局） | 9日 | 議会運営委員会 |
| 25日 | 熊野川改修促進期成同盟会理事会・総会（新宮市） | 16日 | 第3回定例会・第1日目、議会運営委員会 |
| 30日 | 三重県町村議会議長会定期総会（津市） | 17日 | 第3回定例会・第2日目 |
| 8月 4日 | 議会運営委員会 | 18日 | 第3回定例会・第3日目 |
| 5日 | 国道169号線改良促進連絡協議会要望活動（財務省・国土交通省）〔6日まで〕 | 19日 | 議会運営委員会 |
| 25日 | 熊野川改修促進期成同盟会要望活動（近畿地方整備局） | 22日 | 第3回定例会・第4日目、議会運営委員会 |
| 26日 | 自治体議員研修会（津市） | 24日 | 第3回定例会・第5日目 |
| | | 29日 | 紀南病院組合議会、紀南社会福祉施設組合他一部事務組合議会（御浜町） |

9月定例会 一般質問

(要約)

平成20年第3回紀宝町議会定例会は9月16日に開会しました。

第1日目は、初めに、議長報告と委員会委員長報告があり、続いて、町長から、第2回定例会以降の町行政各般にわたる報告がありました。その後、工事請負契約の締結案件1件を可決し、一般質問が行われ、第2日目の17日及び第3日の18日にわたり13人の議員が、諸課題について当局の考え方を質しました。議案の審議では、専決処分案件1件を承認した後、条例の一部改正案件、宣言の制定・条例の制定など3議案が提案され、それぞれ可決しました。

第4日目の22日と第5日目の24日には、協定の締結案件、平成20年度一般会計補正予算案件並びに国民健康保険・老人保健特別会計補正予算案件など4議案を可決。続いて、平成19年度一般会計決算並びに5つの特別会計の決算を認定。また、3件の請願を委員会に付託し、閉会しました。

ります。郵便局の委託費、そして出張支所の開設費に伴う経費を差し引きしますと、37万9千5百60円の節減効果となります。

議員

分庁舎と支所を廃止すると相野谷支所の土地使用料、電気代、水道料、104万円と井田支所の臨時賃金191万円と、井田公民館の電気、水道、トイレ等の経費は300万円しか減りません。人件費はどこで働いてもいる金です。出張支所開設は住民サービス向上になり賛成です。

担当課長

人件費の件については、町全体の職員定数等の関係もあらうかと思います。事務経費の削減については、今ご発言されたとおりでございますし、今回、出張と郵便局に委託をさせていただいて、事務を運営させていただく中で、出張支所の問題についてもまだまだ検討し、意見を拝聴し改善できる点は改善したい。しかし、支所については、現在の支所で仮に存続させたとしても、その支所へすら出向きもできない。そのため出張支所を充実させ、高齢者や障が



尾畑 啓嗣 議員

- ・住民サービスの向上について
- ・トンネル工事について
- ・ゴミの回収について
- ・人件教育について

住民サービス向上

議員

質問させていただく前に、皆さんも今テレビや報道でされてます国政では、福田首相の政権投げ出しを受けて今、自民党は5人の候補者を立てて消費税増税やインドへの自衛隊派遣延長を5人で競い合っています。今回の自公政権の行き詰まりは、一つには構造改革の行き詰まり。つまり一部の輸出大企業の儲けだけを応援し、庶民の暮らしを傷つけてきたこと。その結果、日本社会には貧困格差が広がり明日が見えにくい。人間らしい労働のルールが壊される一方、社会保障は切り捨てられ、年齢によって差別される後期高齢者医療制度。二つ目

にはアメリカの言いなりの憲法踏みについて、自衛隊を海外に派兵するやり方、報復戦争が治安悪化をもたらしたアフガニスタン。紛争を軍事的に手段で終わらせることは決してできません。民生支援等、政治的手腕によって解決、復興することは、ということが世界の今、声になっています。インド洋で戦争をやっているアメリカの軍艦に注ぐ油があるんだったら、燃料高騰に苦しんでいる農業者や漁業者や運送業者に、この燃料を補填を行うべきであります。政権の担い手が変わっても、中身が変わらなければ国民の暮らしは良くなりませ

担当理事

19年度ベースでいきますと物事を単純化しますと、42万3千7百30円の必要経費が要

いをもたれた方への行動を軽減させていくのも一つの方法ではないかと思っております。

議員

役場への申請、届出事務の効率化するために各課が一覧表作り検討してください。(議会後174件あることが判明)

町長

今後検討したい。支所の問題は、旧紀宝町、合併協議会で廃止を決定されております。10年後の町の将来を見定めた中で行財政改革をやっていきたい。町民の皆様方にご協力いただけるところはご協力いただく中で、この半年間協議していただく中で進めてまいりたい。

議員

よっしゃ、半年間しっかりと検討して、頑張つて欲しいと期待しております。

トンネル工事

議員

トンネル工事は、住民の安全、安心が大切です。町の役割は、また、9月4日の国土交通省の要望について。

担当理事

9月中旬からトンネル掘削が始まります。この工事は長い裁判の歴史でも、安全安心が大きな論点となり、発破振動が0・1カインを超えない大変厳しい管理での施工で行われます。振動計12箇所、変位計測を11箇所設置します。町としましては、何か問題が起されば迅速な対応ができる態勢を整えたいと思います。

議員

国土交通省の要望書の中に、紀宝トンネル工事は住民の命と安全を守り、安心な工事にしていただきたい、という要望をしなかったのか。地方自治法の精神に立っていない。住民の目線で行政を進めて欲しい。

ゴミの回収

議員

19年度決算で見ますとゴミ経費は2億5千万円、町民1人当たり年間2万円、1日55円の税金が積み込まれております。週4回に統一することです。燃料の値上げ、走行距離の増、人件費の増、2トパッカー車購入で、今年度は672万円の経費増であります。

地域によって回収回数を見直す時期と同時に、ゴミは分別し資源になるものは資源に、生ゴミは堆肥化し、ゴミボックスの清掃水道費補助金が出なくてもよい。ゴミの出し方の指導をし、全町民に協力を呼びかけることが大切だと思います。

町長

ありがとうございます。地域の中において協力できることは協力していただいて、今後のゴミ行政のあり方、全般的に考えていく必要があると思っています。

人権教育

議員

今、医療や介護の現場で特に強調されているのが、尊厳のある医療、尊厳のある介護、心無い一言が病人や障がいをもっている人を傷つけていることもあります。また、教育現場や町当局、職員、そして我々議員も含め、公職にある者が、真に人間の尊厳を守るとはどういうことなのか、今、改めて真剣に学ぶときではないかと私は考えます。わが町の人権教育の現状

と今後の取り組みについて、関係者に質問いたします。もう一点、人権侵害された、いじめられた、差別された、そういう相談窓口は各部署にありますか。人権問題は表に出にくいからこそ、研修会や教育をやっていただきたい。皆が温かい気持ちで人と接しられる紀宝町であっていただきたい。

担当理事、教育長、特別参与、担当課長より、詳しく答弁がありました。紙面の関係で割愛させていただきます。

※この他に、地域医療の確保の件について質問がありました。



地案 光徳 議員

- ・蔵光山(子ノ泊山) 遭難事故防止策について
- ・レジ袋の有料化について
- ・大里トンネル内での交通事故防止の対応について

蔵光山(子ノ泊山) 遭難事故防止

議員

去る7月28日、関西方面の女性2人が午前10時頃から徒歩で桐原より、子ノ泊へ向かったが、途中2人は別行動をとり、1人は29日朝、桐原に着いたが、もう1人の方は、勝浦の宿舎に帰っていないということが判明し、遭難したとのことで救助活動が始まり、3日間の捜索活動が行われたが、その後9月4日に死亡という不幸な姿で発見されました。今年の子の年ということで、特に多くの方が登山され、中部、関西また遠くの方でも記載されている。登山マナーを守って正しく行動された方は、この紀州の山々の絶景を心より満喫して帰られると思う。蔵光山は特に多く積もる雪山でもなく、千巒弱の山ですが、昔から多くの方が遭難される山と言われていた。そこで近年になって遭難事故はどれだけあったか。また、その際の救助活動、捜索活動等の費用などはどれくらい出費されたのかをお訊ねい

たします。

担当理事

今年に入り7月に2件の登山遭難事故が発生しました。7月7日下和気側から入山した夫婦が、紀宝警察署に救助の電話をし、警察からの要請を受け町消防団が遭難救助に出動したこの事案については、翌日の8日午前8時過ぎに無事発見。この救助に伴う経費として、消防団員12名の出動手当、職員4名の時間外手当として、一般会計の消防費から10万円の支出となっています。7月29日の件は、紀宝警察署より捜索の協力要請があり、町消防団が遭難救助に出動する事案であり、この捜索には29日から31日まで3日間捜索を行いました。消防団員延べ25名、職員6名の時間外手当等、捜索経費も一般会計の消防費から23万円を支出しました。2件の捜索費は計33万円でした。

議員

町内で遭難事故等が発生すれば、このような出費が掛かるし、また生命をも落とす結果となりますので、これらを防止する策として、登山者には届出を義務付けてはどう

か。

担当理事

過去にもほとんど届出の提出はありません。紀宝町、紀宝警察署、熊野市消防署、熊野市で、子ノ泊山事故防止連絡会議を開催して、町内4箇所の登山口と和気の登山口に、登山計画書の用紙と投函ポストの設置を現在検討しています。

議員

遭難事故防止のため、古くなった看板を立て替え、危険箇所の整備を、また年に一度くらいはボランティアを募っても道の草刈等を行ってはどうか。

担当課長

町において登山道や案内看板等の点検を行っておりま

— レジ袋の有料化

議員

CO₂の削減は一人ひとりが実践目標を立て、小さなこ

とから取り組み、1人1日1kgの削減に努めることが大事とあります。この一環として、当町においても早レジ袋の有料化に向けて始動されているとのことでありますが、どう進展されているのか。

担当課長

足元から環境を見直すきっかけとして、誰もができる身近なこととして、全国的に現在進められている、当紀南地域でも「かんきょうみらい会議」という組織をつくり、こ

こで「レジ袋削減の取り組み」これを進めようと呼びかけられました。具体的な取り組みとして、平成19年度末から20年度初めにかけて、この趣旨に賛同いただける事業所や団体の皆さんへの声掛けをし、その後「レジ袋削減への取り組みを協議する会議」を開催し、協議の結果、協議会の設立の合意がなされ、会の名称を「紀南地域マイバック推進協議会」として、今後この「マイバック推進レジ袋有料化」の取り組みに賛同していただく事業所や各種団体のさらなる募集や、取り組みの具体的な手法の検討、これらを継続し、今年度末には一定の方向

性を示したいと協議を進めていくこととなりました。

議員

このマイバック推進協議会等を、生活圏内に入る新宮市にも一緒に入ってもらえないのか。

担当課長

和歌山県全域がレジ袋有料化を県が主導しているのとこので、新宮市さんも当然、一定のレジ袋有料化への動きが出てくるのではないのでしょうか。従いまして、紀南地域の取り組みと整合性をとれるような形で、連絡を取りながら進めたいと考えています。

議員

レジ袋有料化で各事業等で収益が出たら、それらを各営業所等の理解のもと、収益の一部を地域社会に貢献できるようなことはできないか。

担当課長

その収益分を地域のリサイクル推進等の環境保全活動に役立てているところがほとんどであります。紀南地域においても地元の実業者さんとの協定の際には、リサイクル推進の環境保全へ役立てていただくようお願いして、協定に盛り込んでいくよう考えてい

ます。

議員

町長のご所見は。

町長

地球温暖化の防止と循環型社会の構築に向けて進めていくべきと考えています。紀南地域マイバック推進協議会の取り組みにより、仮に一人当たりがレジ袋の使用を現在の半分に減らせることができれば、年間240トンのCO₂が削減されることになります。このような例からも、やはり地域全体で盛り上げ、環境づくりを進めてまいりたいと思っています。

大里トンネル交通

事故防止の対応

議員

トンネル内の照明灯を明るくすること、中央分離帯をはっきりと見えるように、白線を太くすること、分離帯には夜光製の反射性のものを設置していただきたい。

担当課長

県からの回答では、道路構造上問題はないと考えているとのことでも、通学者も20名もいるとのことだし、交通安

全対策といたしましても、高視認性区画線、ヘッドライトを確実に反射し、ライン上を通過するとリズムカルな振動音がしたり、道路銀の設置等、要望してまいりたいと考えています。



矢熊 敏男 議員

- ・成川分庁舎、井田支所、相野谷支所について
- ・災害に強く安全な町づくりについて
- ・教育問題に関して
- ・保育所建設について 他

成川分庁舎、井田、相野谷支所

議員

私は成川分庁舎・井田支所・相野谷支所の廃止問題、災害に強い安全な町づくり、教育問題、保育所の建設、町づくり交付金、財政状況、ふるさと納税などについて質問

します。まず成川分庁舎、井田、相野谷支所の廃止について、私は6月議会で、高齢化社会であり、また長い歴史のある行政窓口なので、厳しい財政だが規模や経費などの工夫をして存続すべきだ。まず地元住民の意見を十分聞くべきだと提案しました。当局は7月に各地域で説明し意見を聞くとのことでした。その説明会の内容や出席者のご意見は。

担当理事

主な意見は、高齢者等の相談窓口であり、不便にならない様にして欲しいなどでした。

議員

私は神内での説明会に出席し、廃止理由や廃止後の説明が、不十分だと感じました。またお忙しい町長さんですが、少なくとも成川、井田、相野谷地区には自ら出席し説明すべきであった。9月3日の全員協議会で、突然、10月1日から「郵便局への事務委託」と並行して、13箇所ですべて「出張支所」が月2回、1回1時間15分開設する提案がされた。総論は賛成です。しかし、全協で提案、定例会で決議す

るのでなく、関連する常任・特別委員会等で時間をかけ議論すべきだった。「出張支所」の問題点は、大変細切れで使用に不向き、形骸化する恐れがある。13箇所が客観的に妥当か。ベテラン職員の配置が可能かなどである。なお「合併しない宣言」の福島県矢祭町長さん出版の「自立推進計画」の中に、町民が安心して暮らせる町づくりのため、各地域に「出張役場」の設置がある。高齢化社会の今こそ行政サービスの充実を目指すべきです。また「郵便局への事務委託」にも心配な点もある。「出張支所」と「郵便局への事務委託」を半年間試行し、来年3月中旬には住民の意見を十分聞き、議会等での協議を重ね、より良い制度にしなければならぬ。

担当課長

10月1日から試行し、12月、3月の議会等に試行状況を報告し、協議し改善していきます。

災害に強く安全な町づくり

議員

昨今は、極端な集中豪雨が発生し、悲惨な水害や事故が起きている。本町も急傾斜地や泥や草木で一杯の河川が目につく。日頃の点検や県・国への要望は。また神内川の、三代太郎橋から石橋付近の神内、飯盛、鵜殿地区は、民家も多く、川の氾濫による水害が心配されるので早急な浚渫工事が必要だ。浚渫工事がすぐできないのなら、その付近の住民に対する、休日や夜間も含めての、警報や避難の安全対策は十分できているのか。

担当課長

主に町内8河川で土砂浚渫が必要と考えており、点検は、日常業務の中で職員が目視検討し、結果を踏まえて国・県に要望を行っております。警報が出れば必ず職員を配置し現場をパトロールします。

議員

8月に子ノ泊山での遭難、熊野川での水死事故と、悲しい事故が発生した。本町の責任や対策は。遭難事故では、本町職員鈴木喜代治さんが、自主的に捜索、発見されたことに、心から敬意を表した

い。世界遺産指定後、古道、浜街道の井田海岸、熊野川などを訪れる人も多く、安全に十分配慮しなければならぬ、具体的安全対策は。

担当課長

子ノ泊山については、9月9日に紀宝警察署、熊野市消防本部などの関係機関と「子ノ泊山事故防止連絡会議」で協議をしました。今後、町内の危険と考えられる個所についても、安全対策に積極的に取り組んでいきたい。

教育問題に関して

議員

地域の学外からの学校支援が重要です。この夏の「紀宝サマースクール」は、大変意義深い教育活動であったと思います。

教育長

本年度、学校指導員や研究指定校制度をスタートさせました。子どもたちの学力向上推進のために実施しました。好評なので、来年度も拡大させ取り組んでいきたいと考えています。

議員

8月末に第二回全国学力・



議会運営委員会

最近テレビで、「モンスターパーレント」が放映され、教育現場等を面白おかしくオーバーに扱い過ぎ、不愉快な時もあります。教育長のご見解は。

教育長

私も同感です。保護者などに、学校教育を中々ご理解いただけないなどにより、よく似た事例は町内にもあります。

―― 保育所建設

議員

保育所建設に向けての現在の進捗状況は。私は、用地は地震や津波などに物理的に安全で、園舎は、地元の木材で木造建築。それから法律の範囲内で、設計は町内の設計業者による、幼児たちに楽しいアイデアの、提案を含めたコンペができないか。また、今後の公共建築物は全て、災害時の緊急避難所等の役割を果たせるよう工夫しておくべきだ。などを具申したい。

教育長

全国的に平均点が下がり、三重県もこの紀宝町もそういう傾向です。また国との約束ことから、町や個々の学校についての結果は公表いたしません。

議員

します。

―― まちづくり交付金

議員

まちづくり交付金による、地域交流センター建設の進捗状況は。また、交付金の残金、4145万5千円の、具体的な事業計画は。

担当課長

只今、実施設計をさせていただいております。残りの事業計画は、現在、防災倉庫と第4分団の消防庫の整備を検討中です。

議員

9月3日の全員協議会で、残りの事業案が突然提案され、多くの質問や意見がでた。私には内容も十分理解できない。関連する常任・特別委員会等でもっと時間をかけて議論すべきだ。

町長

議員の皆様から唐突な提案だ、など色々なご意見を頂戴いたしました。できる限り皆様のご理解をいただきたい。

―― 本町の財政状況

議員

6月議会で、平成19年度の実質赤字比率などについて質問し、9月3日の全員協議会の「地方公共団体の財政の健全化法に関する法律の概要」で、突然、報告を受けた。実質赤字比率が該当なし（上限15%）連結実質赤字比率も該当なし（上限20%）実質公債費比率は、14・1%（上限25%）将来負担比率、123・2%（上限350%）ちなみに以前の質問で18年度も、大体同様。すべて基準値以下であり、この4つの指標から、財政は健全ということですね。

担当理事

健全ということが言えます。

議員

しかし、連結実質赤字比率には水道事業会計が含まれます。6月の全協や定例会で、町長と担当理事から、経営状況が厳しく貯金を取り崩している、基金も3、4年で底をつく。膜ろ過などの設備の更新、水漏れ対策、未給水地区などが課題であるとの説明があった。間違いありませんか。

担当理事

その通りです。経営は大変苦しい状況です。

担当課長

あと3年ぐらい経てば、値上げせざるを得ないと思います。

議員

町民の方々は、4つの指標から本町の財政は健全だと考へると思います。しかしこのままだと水道料金値上げが必ずになる。この件は早く町民に説明すべきだし、物価高騰の昨今、値上げをしない財政計画に早急に取り組むべきです。なお、19年度決算審査意見書にも、「料金改定が必要」と明記されている。

町長

実質連結赤字比率等に、数字が出てこない状況ですが、これから水道事業会計が健全な運営になるように、皆様のご指導を賜ってまいりたい。

議員

今年5月より、「ふるさと納税制度」がスタートしました。本町の取り組み状況や寄付金は。また、目的を明確にし基金や条例などを設けて、お願いするのも一つの方法だと思えます。

担当理事

7月末、ホームページに「ふるさと納税の案内」を掲載。まだ寄付の申し込みはなく、今後積極的に取り組んでいきたい。

議員

これで私の一般質問を終わります。どうもありがとうございました。



市川 潔 議員

- ・防災について
- ・紀南中核的交流施設について
- ・紀宝町の商工業の振興について
- ・神内川について

防 災

議員

防災無線が鵜殿地区で聞こえにくいと言われているが、当局の対策はいかがですか。

担当理事

鵜殿区の防災行政無線屋外

子局装置（スピーカー）の設置場所については、10箇所に現在設置しております。鵜殿区の一部の住民の方からも、放送が聞こえづらいと言うご意見もいただいております、屋外子局装置の増設も検討しているところですが、今現在の対応については、個別受信装置による対応を行っている状況です。この防災行政無線については、緊急時等の情報伝達を、住民の皆様にお知らせする手段でもありますので、難聴地区解消に向けて努力してまいります。現在、アナログの電波により放送しており、今後、デジタル化に向けた移行も計画している段階であるということもご理解いただきたいと思っています。

議員

スピーカーの位置の増設等も考えていただくということですから、適した位置の検討もお願いできないかと思っておりますがいかがですか。

担当理事

移設をすることにより、難聴地区の解消をすることができるとすれば、移設の検討をしたいと考えております。

議員

加入電話からフリーダイヤルで確認できるシステム、防災行政ラジオのシステム等の検討について、当局のお考えは。

担当理事

現在、当町において配付している個別受信機に替わる災害情報の機器として、今後、デジタル化に向けた整備を検討する中で、防災ラジオ等も検討機器の一つとして考えていると思います。難聴地域解消のため、まずは加入電話から無線放送の内容が確認できるシステム、音声応答装置について、早期に導入できるように進めてまいります。

議員

自宅の電話からフリーダイヤルで確認できるということですが、これは携帯電話からでもできるのでしょうか。

担当理事

システムのにはできると考えております。

議員

災害のときにはラジオでしか情報収集ができないと言われているが、紀宝町で電波状態が特に三重放送とか東海放送が悪い状況の中、改善要望が必要かと思うが、当局のお考えをお訊ねします。

担当理事

大規模地震災害時には、ラジオ等は正確な情報を得る手段として大変重要なものであると思います。紀宝町でFM三重、東海ラジオが受診できない地域があります。FM三重に問い合わせたところ、町内の大烏帽子山が電波障害の原因になっているとのことでした。

議員

神内の大烏帽子山等の高い山が電波の障害になってというようなら、逆に大烏帽子山にアンテナを立ててもらえる要望していただけないかと思っています。

担当理事

大烏帽子山へのアンテナ建設等も含めて、今後、各局にラジオ放送の難聴地区の解消をしてもらい、町内全域でラジオ放送が受診できるように要望活動を強く行ってまいりたいと考えております。

議員

予算面等がございましたので町長の答弁をお願いします。

町長

議員ご指摘の部分については前向きに検討してまいります。ただ放送のデジタル化については、慎重にもう少し考えていきたいと思っております。

紀南中核的交流施設

議員

この事業の概要と今後の予定についてお伺いします。

担当課長

この事業は県が取得した金山パイロット園地内の14畝の土地に、事業者が宿泊施設や交流施設を造り、世界遺産熊野古道、地域の特産品の郷土料理、海山川の自然体験などの多くの資源を活用した集客交流の拠点とするものであり、地域の皆さんと一緒にいきいきとした地域づくりを目指しております。建物等の施設は平成21年6月までに完成し、開業は平成21年7月の予定であります。

議員

紀宝町からの雇用の可能性はいかがですか。

担当課長

地元雇用について、エムアンドエムサービスの方では、正社員9名、パート等で37名の46名を予定しております。今後は随時、ハローワーク、地方紙等において、募集をか

けていく予定であります。

議員

町長の思いをお願いします。

町長

地域農産物、雇用の問題等を踏まえて、この地域の活性化を図っていくという強い思いをエムアンドエム等や県に対しても申し上げております。

— 紀宝町商工業の振興

議員

現状と将来展望について伺います。

担当課長

バブル崩壊後の雇用の低迷、取扱物品の変化及び低価格などにより事業所数は減少傾向にあります。紀宝町商工会において、町内の産品を利用した食の開発を行っております。パルプ製紙工場においては、バイオマスボイラー稼動により重油の使用が7割削減され、排出する二酸化炭素も削減し、省エネを進め電力の使用を減らすことで、環境面でより貢献していきたいと考えております。また、町物産振興会と町、近代高専によ

り産官学連携によるインターネットによる販売システムの開発を行っており、充実したシステムを構築していきたいと思っております。

議員

町長に現状と将来展望をお訊ねします。

町長

現在の状況、現実を把握する中で、地域が生き残っている、集客ができる町づくりを進めていくことが必要だろうと思っております。それぞれの地域の特徴をしっかりと生かしながら、それぞれの地域に向けて、これからも皆様方のご指導をいただきながら取り組みを進めてまいりたい。

— 神内川

議員

神内三代太郎橋、鵜殿石橋付近は、葦、雑草など堆積箇所があり、ゴミ等もあり景観が悪く、河川環境機能のこともあるが、浚渫の必要があると思うが、当局のお考えをお訊ねします。

担当課長

三代太郎橋下流については、堆積土砂、葦などの雑草

が繁殖している現状を確認し、環境・浸水対策面で問題があることから、毎年、県に土砂浚渫の要望を行っております。昨年度、土砂浚渫を行う予定でしたが、財政面・土砂処理場の確保が難しく、着手に至っていないところです。現在、県と共に土砂処理場を検討しているところです。当面の対策として、河川内の除草を早急に行うよう、強く要望していく考えです。



阪本 守央 議員

- ・ハセデの池について
- ・町の文化財指定について
- ・井内工業団地内の有限会社ユタカ商会の地元雇用状況について

— ハセデの池

議員

ハセデの池についてお伺い

します。先日、ハセデの池へ下りてみました。昔、子どもたちが泳いでいた頃の面影はなく、ドブ濁りのドブ川のようになっておりました。しかし、水面をスイスイとヤンマのオスとメスが何匹も飛んでいました。他に名前も知らないトンボが何匹もいました。

丁度今頃、田んぼの畦にしゃがみ込み、棒の先に40・50cmの糸をつけ、ヤンマを縛り付けてぐるぐる回すと、他のヤンマが飛びついてきたものです。ところで、このハセデの池について、関係者の人が段々と少なくなり、今はっきりさせておかねばならないと思いますので、質問いたします。昔、私のばあさんに聞いた話ですが、字はせでと字飢谷一帯は、森さんという人が所有しており、大正か昭和の初期に、上野の人とか、私のところの老家、私のところとその他数人の方が、その区域を分けて買ったのだそうです。当時はほとんど田んぼで、ハセデの池から水を引いていたのですが、水が貴重だったので水守がおり、相当厳しい制限で田んぼを作っていたそうです。そのハセデの池

の水は、オムラの池からずっと引いてきまして、去年亡くなりました元町長の岩本辰次さんや私の親父が、戦後だったのですが、オムラの池まで、よく泊り込みで荷物を担いで水の番をしに行くのだと言っていたのを子ども心に覚えております。そこで、オムラの池は現在、町有となつてい

担当理事

オムラの池は明治44年7月1日、井田村の所有権の登記がされ、その後、合併による承継により紀宝町の名義となっております。

議員

オムラの池からハセデの池へ水をずーっと落としてきたのですが、ハセデの池の現在の所有権は、どうなつて

担当理事

宇和野新田15鈔の水源確保のため、オムラの池が整備され、そこから用水を引き、一旦ハセデの池に貯めて水田に導水されておりました。現在、オムラの池は火災時などの防災施設として、また、池の水は神内川へ流れて水源に活用されています。ハセデの池は

26名の所有名義となっており、現在3名の水利権が存在しております。

議員

このハセデの池の所有名義は、以前、区の財産がそうであったように、権利能力なき社団名義の登記ではないのですか。

担当理事

現在、26名の名義で登記されている個人的な所有と考えます。

議員

オムラの池を明治何年かに水を引くのこしらえて、そ



れが町有になっているので、ハセデの池についてもおそらく町有になるのではないと思いますが、その見解は如何に。

担当理事

今のところ個人所有という判断です。

— 町の文化財指定

議員

町の文化財指定について伺います。以前、旧紀宝町については県への文化財の届け出はされていないので、今後、指定の作業をしますということでしたが、その進捗状況は如何に。

担当課長

町内の文化財は国指定3箇所、県指定2箇所、町指定5箇所です。旧紀宝町には町指定の文化財はありません。現在、文化財調査委員に候補地を選定していただいております、候補地を現地調査している段階です。調査委員5名で旧紀宝町の候補地を一つひとつ現地調査して、全部見た時点で県指定の候補地については県へ推薦していく予定にしています。

議員

この間の広報きほう9月号に平尾井葉師踊りが紹介されておりましたが、旧紀宝町の文化財で重要であると分かったものはたくさんあるもので、それらを先に一日も早く指定の手続きをとるべきだと思います。

担当課長

文化財の指定については、地元の関係書類を添えて申請しますので、地元の役員の方と相談しながら進めていきたいと思っています。

議員

再度お願いしますが、早く文化財の指定を受け、町の助成をしてください。

— 有限会社ユタカ 商会地元雇用状況

議員

井内工業団地のユタカ商会の地元雇用状況をお聞きします。

担当課長

井内工業団地での操業開始は平成18年3月からです。平成20年8月現在、正社員58名、パート職182名の合計240名です。地元雇用の範囲はハローワークの指導によ

り、熊野及び新宮管内の者とされており、正社員45名、パート職115名の合計160名となっております。町内の採用状況は、正社員19名、パート職70名の合計89名です。



門脇庸二議員

・全国学力テスト(再開2年目)の結果について
・井田公民館の活用について

— 全国学力テスト (再開2年目) 結果

議員

全国学力テストについて、今年度、第2回目が行われたわけですが、去年の反省にたつての点と、今年度の結果をどのように踏まえておられるのか。

教育長

本年度の結果の検証につきましては、まだ終了しておりません。昨年度の全国学力状況調査の結果、学校と教育委員会、二つに分けて、その後、取り組みをしております。学校は、やはり授業をもう一度見直すべきであるという認識にたっており、本年度は町内の小中学校全ての学校で授業研究を行っております。教育委員会は、学校指導員を配置し、活動を行っております。それから授業が大事ということに基づいて、町内の学校、今年度は相野谷中学校を研究指定校にしております。それから、各学習会、サマースクール等で子どもたちの学習意欲を何とか教育委員会としてもやっていけないかということを取り組んでおります。

議員

全国の47都道府県の中で、去年の三重県の小学校、中学校の順位は、合計で、小学校は去年42位が今年43位。中学校は29位が33位という結果が公表されております。この結果を受けて、学校現場で、どのような努力をされ、その成果がどのように表れたのか。去年の同僚議員の一般質

間に対して、7項目ぐらいのものを教育長は述べられております。そして、これを学校現場で等しく努力されたのであれば、今回の2回目のテストにおいても、良い反映された面というのは、あるべきだと思うのですが。

教育長

やはり私たちは、全て真摯に、その結果を受け止めなければならぬと思っております。具体的な取り組みですが、1点目は学校指導員を、学校を支援していく目的で配置したということ。2点目は研究指定校を指定したということ、この指定校をすることによって、その学校が、子どもの学力を上げるために授業を改善するためにどうしていくから良いという、一つのプレッシャーになります。相野谷中学校が受けており、来年度に成果を発表するということになっております。3点目は、紀宝サマースクールでございます。非常に子どもたちの学習意欲を喚起するために、大変良いというふうに、思っております。学校に対しても、ある程度のプレッシャーをかけたというふうに

良い意味でやっております。

議員

おそらく、その成果というのは、来年度、そういったものも、徐々にではあるけれども、学校現場で表れてくるだろうと。そういうことも期待いたします。

井田公民館利活用

議員

井田公民館も相当な利用をされていると思います。この利活用をさらに高めるために、この各地区で、集会所がございます。公民館ということになれば、いろんな法的な制約、しほりもあるのじゃないかと。集会所という形に名称を変えていただいた方が、かなり利用度も高まるのではなからうかなと。その集会所という施設に変更できないものかどうかということをお訊ねします。

教育長

可能でございます。ただ、現在は、公民館の利用については法的な制約があり、利活用を広めるためには、この制約を取り除かなければなりません。一つは起債でございま

す。もし、21年度に井田公民館の起債を完済するために、未償還元金と利子を合わせて、1009万8748円が必要であります。これについては、財政当局の判断を仰がなければなりません。次に住民の要望ですが、現在のところ教育委員会に、利活用の拡大について住民の方から直接、まだ要望を受けておりませんので、実態把握が今後必要ではないかと思えます。以上2点を十分に整理した上で、現在の井田公民館を管理委託する中で、集会所あるいは区民会館と変更し、議会の承認のもと、公民館の名称と位置を変更するなどの条例改正をしていかなければならないというふうに思っております。

議員

元金がいくらで、利息はいくらなのか。あと利率と。この内訳をお聞かせください。

教育長

未償還元金が916万8131円で、利子が93万677円です。

収入役

利率は4・4%です。

議員

6月議会で、国の方も、預金金利の中で、高い利率においては一括返済。それが法的に可能ですと。そうしたときに財政云々、経費節減の中で、ことと次第によつては、そういう借り換えをして

でも、返済をすれば経費節減になるのではなからうかなと、同僚議員が一般質問されておると思えます。それに対して、当局もそれは十分可能だという答弁をされておると思えます。地元からの要望が出てないにしても、井田公民館の利活用について、住民の気持ちどこにあるかということを推察し、それに答えていくというのも行政ではなからうかなと。そこで、利率4・4%大きい金額です。けれども、利活用をし、そして、この0金利の中で一括返済をする。そうすると、この財源をどうするか。これは何も政府機関でなくても、民間の金融機関で、入札方式により1009万円借りて利率がいくらなのか。2%としたときに、2・4%安く上がるわけですから1009万円から少ないと思うのです。そういう形で、井田公民館を集会所施

設として、利活用を高める気持ちで行政サイドにあるのか伺います。

町長

現実、その公民館を、地区集会所として、利用する形が効果的なかどうか。地区の方々がどう望んでおられるのか。一番重要な問題だろうと思えますし、そういった形の中で、そういう思いが多いというところでしたら、やはり、それに答えていくというのも大事なことでろうと思っております。

※この他に、ゴミ収集とRDF問題の件について質問がありました。



石垣 憲一 議員
・支所 分庁舎廃止について
・決算について

― 支所、分庁舎廃止

議員

地区説明会での住民の反応は如何だったのでしょうか

担当理事

様々なご意見を頂戴いたしました。郵便局へ事務委託した理由、経費の比較、支所廃止の理由、そして支所は行政処理の事務だけでなく高齢者の相談窓口であるという意見が大方でした。郵便局への委託業務に加えて地域における相談窓口として出張支所を開設し、住民サービスの向上を図る施策のヒントを与えてくれました。

議員

資料を見ると説明会、地区懇談会への参加者が少ないように思いますが、説明会、地区懇談会への呼びかけをどのようにしているのか。

担当課長

日程については広報に折り込み、会場別では前日に町広報を使って周知させていただいています。

議員

どの会場にも町長が出席しなかった理由をお聞かせくだ

さい。

町長

今回のことについてはこういう形（郵便局への一部業務委託）を試行的に行ってみたいんだということで、職員の方で説明会という形で開催させていただきました。その方が忌憚のない十分なご意見が聞けるのではないかと、そんな思いがして職員の方で説明をさせていただきました。

議員

試行的に行う説明会だと言うことでですけど、やはり町長が出席して住民の生の声を、その場の雰囲気を感じ取っていただけるように配慮をお願いしたい。まだ議会で採択されてはいませんが、支所、分庁舎の廃止後の職員配置についてはどう考えているのか。

担当理事

支所、分庁舎を廃止した場合、本庁舎に配置することになります。今年度末には4名が退職する予定になっておりまして、退職者の補充に充てる計画であります。

議員

職員定数についてはどうですか

担当理事

紀宝町職員定数条例で150名と定められております。今現在、町長部局の職員が111名。議会事務局の職員が2名。教育委員会事務職員が7名。教育機関の職員が9名。公営企業の職員が6名となっており、合計135名というふうになっています。

議員

最終的にはどの位の職員数にする計画になっていますか。

担当理事

今現在、行財政改革実施計画の原案を審議している中で、今年度中に定員管理適正化計画を策定するという事になっています。この計画に基づき、管理を行っていきますと、平成22年度には130人ということになっていくと思います。平成22年度まで3分の1採用ということでいくと130人になります。今、行財政改革の実施計画を作成しています。その中で、職員の現在の業務の内容、状況を勘案した時、何か必要という数字が出てくると思っております。

議員

3月の定例会で、理事は費用対効果というようなことを考えますと、郵便局へ委託し

た方が効果的な経費の利用ができるとおっしゃいましたが、もう一度理事が考える効果的な経費の使用ができる判断をお聞かせください。

担当理事

ご質問の趣旨は、町全体に及ぼす財政効果という内容と理解いたしました。視点を變えてお答えさせていただきます。21年度の予算を考えると人件費の面では退職者4名の経費が300万7千2百円

（一）、仮に24歳の職員を採用したとして377万9千円（十）と人件費がかかります。これを差し引きすると262万9千3百円となります。これに分庁舎支所の維持費、使用料、68万8千1百円（十）を加えますと331万7千4百円が削減される。21年度の郵便局への委託料、出張支所の経費を合計すると441万7千円（二）差し引き28万7千7百円の削減効果となります。

議員

そういうふうに入件費を削りそして3分の1採用をやっていると人件費を削っていく。しやすいところからやっていく。この位の削減であれば、他の

ところでも節減できると思う。さつきも申し上げた様に分庁舎、支所を置くということは、住民にとっては一番の費用対効果じゃないかと思えます。

― 決算

議員

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に絡めた19年度決算について、平成20年4月より地方公共団体の財政の健全化に関する法律が施行されました。財政健全化判断比率、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4指標がいずれも基準値を下回った数字となりました。この結果の町長の見解をお聞きます。

町長

実質公債費率については18年度の14・8%から14・1%と少し改善しています。経常収支比率も18年度の96・4%から93・5%と3ポイント改善されている。合併当時の99・4%から19年度で、93・5%と6%改善しているが、まだまだ健全な状況とは言えない。健全な財政状況と言われている85%にさらなる努力を



る努力をしていただきたい。
この経営収支比率が全国平均
ではどうなっているのか。

担当理事

全国平均というのは調べて
いませんが、この数字を仮に
18年度のそのままの数字を使
って19年度の数値を置き換え
た場合、7番目ということに
なります。去年は最下位、今
年は下から7番目ということ
です。

議員

水道事業特別会計につい
て、水道料金を値上げしなけ
ればならないという理由を再
度、説明していただきたい。

町長

していきたい。起債について
も実質公債費比率が減ってい
るといふようなことで本当の
借金（起債）は減っている。
経費の節減については、慎重
かつ十分な計画性を持って今
後も進めていく。財政計画に
ついては、今年度中に歳入見
込みからの財政計画を立て、
数値目標新たに参入した財政
計画を来年度中に策定をする
計画で進めていきたい。

議員

経営収支比率を合併後6%
下げたということを非常に評
価したいと思います。さらな

最後に、これから先、町行
財政改革の何年後かを考える
と、橋下知事が言ったように
町職員の人件費も見直してい
かねばならない時期が来るん
じやないかなと思います。



北山 千恵 議員
・防災に対する町の姿勢に
ついて
・保育所建設について

防災に対する 町の姿勢

議員

9月1日防災の日に初め
て、大阪で東海・東南海地震
が同時に発生した場合を想定
して訓練を行いました。大地
震が早朝に起こった場合、津
波による死者数が大変多いと
いう報道があります。そこで

津波と高潮の違いをスピー
ド、波長、威力で説明してく
ださい。

担当課長

外洋部では波長が長く、波
高は低くスピードは速い、沿
岸部になると、波長が短くな
るが波高が高くなり、スピー
ドは遅くなります。大風の
きの波長は150m位です
が、津波は数百mにもなりま
す。

議員

威力についてはいかがです
か。

担当課長

波の威力は台風とは比べも
のにならないくらい強い
です。

議員

もつと、具体的に申します
と、津波の波長は500m、
1kmで約6mの津波が12分後
に紀宝町にやってくる。波の
速さは沖ではジェット機な
み、沿岸部では新幹線なみ、
上陸すると車なみ、威力は1
mの津波で古い木造住宅が半
壊する程と聞いています。6
mの高さで500m、1km
の水の塊が井田海岸や鶴殿を
襲うわけですが、堤防にぶつ
かった水の塊はどうなります

か。

担当課長

越波してくる可能性はあり
ます。

議員

津波による死者数をどれく
らいと想定していますか。

担当課長

防潮施設が機能しなかった
場合231名と想定していま
す。

議員

井田や鶴殿の住民が犠牲に
なる可能性は大と思います。
役場にはどれくらいの人が避
難してくるのですか。

担当課長

役場周辺には700名の方
がおられますが、10分間で3
00m逃げられるとすると、
かなり無理がありますので、
鶴殿港近くに防災タワーと
か、もう1箇所、避難できる
建物があればと思っています。

議員

防災マップによりますと、
役場は防潮施設が機能して
も、しなくても浸水する想定
になっています。役場への交
通アクセスはどうなります
か。また、多くの人が避難し
ている中、司令塔として機能
しますか。

担当課長

6 mの津波が40 kmの速度で来た場合、どれだけ水が引くかは想定していませんが、役場への交通アクセスは不能です。司令塔としては機能すると思います。

議員

鵜殿港に想定されているような津波が襲って来たらどうなりますか。

担当課長

6 mの津波が襲ってきます。

議員

非常に危険な場所だということですが、今年も紀宝フェスティバルを港でするのはなぜですか。

担当課長

地震はいつ起こるかわかりませんが、起れば高台に逃げてもらうよう啓発します。

議員

先ほどの課長の答弁聞いてなかったのですか。港周辺には高台などありません。行政として行う祭りですから、他にもフェスティバルを行える場所はあるのですからね、危険が分っている場所は避けるべきだと思います。停電すれば真っ暗になるのだから、

避難所にはソーラーライトが必要と考えますが、金銭的にとり付け可能ですか。

担当課長

1基150万円しますが、前向きに検討したい。

議員

鵜殿平嶋地区にはどれくらいの人に住まわれており、この方々はどこに避難するのですか。

担当課長

人数は把握していませんが、丘陵地のところを考えています。

議員

国道沿いにはネットが張つてあります。やぶつて階段をつけてくれるのですか。

担当課長

どこにつけるかは、地元や国交省とも協議したい。

議員

防災や津波に関する情報を官と民が共有して、減災に努めていただくよう要望します。

— 保育所建設

議員

統合しないという理由に井田・飯盛保育所を統合する

と、150人規模の保育所となり大き過ぎるとされていますが、成川や鵜殿保育所には90名近い保育余裕があります。園児を分散することが可能なら、保育所建設は1箇所で見込みます。建設候補地に着いている、飯盛や旧井田小跡地は防災上どのようなところに位置していますか。

担当課長

防災マップ上では、海拔6 m以下の地点です。

議員

旧井田小跡地は、急傾斜地崩壊危険箇所に近いところに位置しており、海拔は8・5 mありますが津波の越波と2つの危険があります。飯盛は海拔4・3 mで津波で1〜2 mの浸水予測地区であり、土石流危険区域・急傾斜地崩壊危険箇所の3つの危険がある場所です。新たに建設するのですから、避難しなくてもよい場所に建設すべきと思いますが、危険な土地柄であることとを十分説明した上で、あの場所が決まったのですか。

担当課長

地域の方、保護者、保育士等を交え、6回ほど協議をもつ中で候補地が決まってきました。

した。そのような場所だということとは区長さんもご存知ですが、最悪の場合のシミュレーションですから、土地改良等をすれば十分耐えうると思います。

議員

防災マップをよく見て、もっと安全で避難しなくてもよい場所を検討されなかったのですか。

担当課長

安全安心は防災もあります。防犯もあります。広大な土地が近くにあるかどうか、今のところだと裏地を足せば十分土地は確保できると、近くに民家もありますし、適地です。

議員

津波で浸水されれば、6時間以上は避難地で待機するということですが、通行できない状態で園児の引き渡しはどうするのですか。

担当課長

水が引かない状態ではお迎えを待っていただき、園の中でお預かりさせていただきます。

議員

井田保育所にしても、アンケートでは避難しなくてもよ

い高台を望んでいる保護者が多いです。財政面、防災面の点からきちつと説明ができ、住民の皆さんが納得できるような保育所建設を要望します。※この他に、生ゴミ処理の件、合併特例債の件、紀宝町防災施設の件について質問がありました。



西村 喜久男 議員
・災害に強い町づくりについて
・健康な町づくりについて

災害に強い町づくり

議員

地震対策の、高齢者世帯の家具固定の実施状況はどのようになっていますか。

担当理事

平成17年度から平成19年度までの実績は148世帯であります。平成20年度は8月末までに26件の申し込みがあり、現在順次、施工をしています。

議員

65歳以上の世帯を対象になつていますが、体の不自由な方の世帯や、女性の方の世帯へ無料でなくても、補助していただくような取り組みについてのお考えはないですか。

担当理事

県費半分の補助事業ですが、対象者につきましては、まだそこまで拡大されていません。

議員

是非、対象者にこだわらず、前向きに検討していただきたいと思います。木造住宅の耐震診断の実施状況と補強工事の取り組み状況はどのようになっていますか。

担当理事

昭和56年以前に建築された木造住宅を対象に無料で耐震診断事業を進めております。平成15年度から平成19年度までの診断実績は210戸であります。平成20年度は先月末まで、8件の申し込みがあ

り、現在、順次、専門家による耐震診断を進めております。耐震診断を受けた住宅のうち、評点が0・7未満の住宅については、評点が1・0以上とする補強工事を建物の所有者にすすめており、平成19年度までの実績は9戸の補強工事を実施しております。

補強工事が実施されない原因として、工事費が高額になることなどが、挙げられます。現在、1戸当たり工事費が200万円として、国、県からの補助を受け、補助金として84万円がありますので、116万円の個人負担となります。

議員

耐震補強工事より安価な費用でできる、家の中に設置する耐震避難場所について、紹介させていただきます。これは、浜松市の工務店が開発して、2006年1月から発売され、全国で約70戸施行されております。ベッド2台置く広さがあり、普段は寝室として使える。費用は床の補強で別に費用がかかることもあると思いますが、工事費込みで25万円だそうです。補強工事の値段とすれば大分安くなると思います。是非、検討し

ていただきたいと思います。

担当理事

今、言われました一部屋根補強については、町村会を通じて、国、県へ要望しているところ です。

議員

地震に対して危険箇所把握と問題点の対策はどのようになっていますか。

担当課長

平成17年度より主要幹線道路にかかる橋梁について耐震補強工事を実施しております。平成19年度末で北川橋、日高橋、石橋の3橋の耐震補強工事が完了しました。平成20年度以降も5年計画で町内の主要幹線道路の橋梁を対象

に事業を進め、現在、整備が必要であると思われる、山瀬橋、宇気津橋、里前橋、波静橋の4橋があります。治山事業については、高岡地区の野添川上流で国補助事業の復旧

治山を実施しております。県単治山事業は昨年度要望の鮎田地区2件、神内地区1件の実施をしています。今年度に入り桐原、大里、浅里、鶴殿、成川地区で各1件落石があり、県に追加要望を行い、今年度中に着手する予定です。

砂防事業については、浅里地区中野谷、高岡地区宇田ノ口谷川において、堰堤築造工事を継続しております。急傾斜地崩壊対策事業については、神内里地区の擁壁工事、鮎田西地区の測量用地買収を継続して実施しております。今後、引き続き未対策箇所について、県に対して要望を行ってまいります。

議員

紀宝バイパスのトンネル掘削地の付近の方の地震を踏まえての安全対策が必要と思いますが、どのようにお考えですか。

担当理事

地域の人も話を進めながら検討してまいりたいと考えております。

議員

地震による津波が発生した場合、いち早く高いところへ避難するのが鉄則だと思います。井田の海岸付近もそうですけども、特に湾状になっている鵜殿港付近はエネルギーが拡大されて津波も高くなり、特に危険区域じゃないかと思います。津波避難タワーの建設が必要かと思ひます。どのようなお考えですか。

担当理事

鵜殿地区への避難タワーの建設については、検討をしますが、軟弱地盤への対応、液状化が起こりやすいと聞いております。現時点では高台への避難路整備を考えています。避難タワーについては、住民の多くの方が関心を持っておられ、今後も検討させていただきます。

町長

これから地震等の対策については、鋭意努力してまいりたいと思っております。

健康な町づくり

議員

私の身近でも40歳から50歳代の方が病で亡くなられました。家族の悲しみは大きいと思います。病気には早期発見、早期治療が一番大切と思っています。町の健康診断と未受診者に対しての取り組みはどのようになっていますか。

担当課長

9月で終わった時点で反省させていただき、受診率が低ければ来年以降、集団検診に

については、時間の見直し、場所を多く設定する等で町民の方が受けやすい環境にもっていきたいと思っています。個別健診で医療機関に直接行っていた方についても、受けやすい医療機関を増やして受けやすい環境を整えていきたいと思っています。

議員

禁煙に対し、医学的な支援やメディアを使った啓発教育の取り組みについてお伺いします。

特別参与

今後、タバコの煙のもつ毒性についての啓発、喫煙マナーの普及、禁煙の干渉と禁煙の支援等の啓発活動及びたばこ対策の推進に努めてまいりたいと思っています。

議員

健康な町づくりの先進地の紀宝町として、この世界的な流れの禁煙運動に、首長が先頭に立って取り組んでいく必要があると思いますがいかがですか。

町長

大変厳しいご質問でございますが、人それぞれによつて嗜好も違うと思いますから、それぞれの思いの中で、自分

の健康管理を含め、適度に味わえればいいのではないでしょうか。ただ健康法による受動喫煙対策については取り組みを進める必要があると思っています。

議員

診療所を含めた癒しの森的環境づくりについて、今後の取り組みについてのお考えは。

特別参与

平成15年度に紀南地域の振興策として、林野庁から補助を受け、紀宝町の森林利用計画を策定させていただきました。計画では診療所を健康と癒しの森診療所として計画し、併せて紀南振興策に伴う健康増進施設を森林の遊歩道、リハビリ庭園を含めて健康と癒しの森計画として三重県に要望してきたところですが、新町となって、急いでございました診療所を当初計画から切り離し建設させていただきました。残された健康増進施設の計画部分について「早期具体化について」を提出して早期採決を三重県に要請してきたところです。今後もしっかり要請してまいります。

議員

是非とも、根気強く、要望していただき、実現に向かって頑張っていたいただきたいと思っています。



平野 美津子 議員

- ・財政について
- ・学校給食について
- ・介護保険事業について
- ・児童扶養手当の支給について

財政

議員

紀宝町の借金は利子を含めるといくらありますか。

担当理事

一般会計の地方債（借金）現在高は64億8469万1千円、水道事業会計で22億3854万5千円、利息12億3034万7千円で、合計99億5358万3千円になります。

学校給食

議員

子どもたちが豊かな人間性を育み、生きる力を身につけていくために、何よりも食が重要である。私は、以前から（給食センターには）洗米機

もあるので、子どもたちに地元産のレンゲ米、そのまま食べさせてください。と言っていますが、それがなぜ無洗米にしなければならないのかということについて、調査してほしいと思います。この地域で学校給食のお米だけ無洗米にして窒素分とかを流さなかったても、自然に対する影響はないと思われます。浄化槽で分解されるということなのだから、無理やり無洗米にするということに、納得がいきません。

担当課長

旧紀宝町るときから使用していると思いますが、無洗米にした理由といたしましては、水の節約、環境問題、浄化槽の負担が軽くなります。無洗米の場合はキロ当たり、20年度につきましては、40

5円、普通米の場合は、340円、65円の差があるので、人件費とかいろんな計算をしてみますと経費的に変わります。

介護保険事業

議員

紀宝町の介護保険の利用者さんに問題提起されたことで、紀宝町の包括支援センターは、きちんと理解していたことですが、県、紀南介護保険広域連合の指導が間違っていたということ。私が相談を受けたのは、難病をお持ちの方がお母さんを介護されている中で、その娘さんの介護保険を使って、ヘルパーさんにお母さんの食事を作っていたら、違法なのではないかと、事業所から違法なのにしてあげていると言ふ発言ですごく傷つけられて、私の方に相談がありました。そのような家庭の状況の中で、憲法に生きる権利が保障されているのだから、どこかで支援しないとおかしいと調べてみました。厚生労働省の担当者で連絡をとり「生活支援であれば娘さんの介護保険をお母さんの食事作



第3回定例会

りに振り替えることができ
る」ことがわかりました。介
護保険広域連合や県の指導が
誤っていました。このような
時に紀宝町としては、どのよ
うにかかわれるのですか。

担当課長

上層部や広域連合の方にも
お話させていただいて指導さ
せていただきたいと思います。お
ります。ケアプランは、利用

者の状況、お体の状況に合わ
せて絶えず、介護の目指すべ
き目標と内容を考えていく必
要があり、利用者の意向だけ
で作成するのではなく、利用
者のニーズを見極め、多くの
介護職員と協議しながら、自
立に向けた計画を立てていく
ことになっております。その
後、本来利用者の同意を得て
サービスが実施されておりま
す。紀南介護保険広域連合に
おいては、給付費適正化事業
としてケアマネージャーの質
の向上、ケアプランの内容が
実際のサービスと利用者の
ニーズに即したものになって
いるのか確認。地域の資源状
況や課題に対しての把握を目
的としてのケアプランチェッ
クを平成21年度から実施する
ことに向けて現在準備をして
いるところでございます。

議員

厚生労働省の老健局振興課
課長補佐兼介護支援専門官で
ある遠藤征也氏の講演の中で
ケアマネージャーの忘れては
ならないこととして利用者の
権利を「利用者の権利擁護、
利用者の自立支援、自己実現
を可能な限り追求する。価値
ある人間として、尊重する」

という姿勢を持つと言ってい
ます。

担当課長

ケアマネージャは、高度な
技能をもつて実務研修を重ね
て資格を取られた方々です。
万が一問題がありましたら、
紀宝町の方からも指導させて
いただきます。ケアマネージ
ャーの派遣の施設、社会福祉
施設事業所についても、ご指
導させていただきます。

—— 児童扶養手当の支給

議員

祖父母と同居しながら自立
を目指して、別世帯を構成し
ている母子家庭に対し、各自
治体は生計同一を理由に、児
童扶養手当を支給しないケー
スが少なくありません。自分
名義で契約し、払っている
か。祖父母と同一敷地内に住
んでいても、玄関、廊下、風
呂、トイレ、台所等が別々で
あるかなど、生活実態にそぐ
わない基準を適用し、生計同
一と断定しています。厚生労
働省が児童扶養手当支給につ
いて次のように回答していま
す。「個別事業ごとに実態調
査を行った上で、総合的に判

断するようにしている。今後
とも地方公共団体の担当者会
議において指導の徹底を図っ
てまいりたい」紀宝町では、
この指導に基づいてやってい
ただきたいと思います。

担当課長

三重県は、「厚生労働省か
らの指導は受けていない」
ということでした。紀宝町で
そういうことでお困りの方が
いらつしやいましたら、相談
窓口は常に関しておりますの
で、福祉課の方に相談してく
ださい。

※この他に、行政は民主的
にの件ついて質問があり
ました。



登立 元吉 議員
・浸水対策について
・子ノ泊山遭難について

—— 浸水対策

議員

すでに昨日、一昨日と同僚
議員から質問が出ております
ので少し観点を変えてお伺い
します。

国管理の熊野川及び相野谷
川につきましては水防災対策
事業等ではほぼ完成に近づい
ています。また、熊野川の河口
に近い左岸の堤防工事も始ま
っています。県については井
田川がようやく言うところ
です。高岡においても堰堤工
事がなされています。しかし
ながら県も財政難ということ
で対応が非常に遅くなってい
ます。そこで、県管理部分に
ついて町は県とどう対応して
いるのか。国、県ともそうで
すが、河床が上がっていま
す。このことは、通水性が悪
く増水すれば越水する危険性
があります。更に護岸の手当
でされていない部分がありま
す。かつて桐原で時間当たり
129mmの雨量のとき、自然
プールから越水した水が民家
の床すれすれ、雨戸に水跡が
つきました。国は9・4mで
の対応をしています。県と

しても何らかの対応をすべきだと考えます。町は県にどのような要望をなさっておられるのか。

担当課長

相野谷川の護岸整備ですが毎年県へは要望をしています。ただ財政難ということで、認識はしているが未対策ということでございます。今後も改修要望をしてまいります。

議員

当局としては、どの程度の雨で問題が起きると考えていますか。

担当課長

当然、大雨警報とか降雨量70mmとか時間当たり70mmでは危険な状態になると思われます。

議員

最近の雨は異常と言うか、ゲリラ的と言うかピンポイントに非常に集中する傾向にあります。50mmとか100mmに対して全てに対応することは難しいかもしれませんが、民家のあるようなところは強力に県と話し合うべきでしょう。住民にとっては、国管理とか県管理とかは問題ではありません。これらにもの言えるのは町ですからしっかり

と対応していただきたい。

— 子ノ泊山遭難

議員

子ノ泊山における遭難事件について伺います。今年は全国的に事故が多いようです。県内でも増えています。紀宝町も例外ではありません。直近の出来事について少し話してください。

担当参事

遭難者野田信子氏ですが、熊野市和気で見えされました。県道から歩いて15分程の所で遺体を発見しました。彼女は桐原側から登り浅里へ下り、3時何分かのバスに乗る予定だったと思われます。頂上から浅里側へ下りる際間違っ作業道から紀和の方向へ行ってしまったと思われます。そして急な崖の方へ行ってしまった、ついには滝の所ですべったか転落したと思われます。

議員

県道までわずかのところまで来て命絶えたということは本当にお気の毒です。たかだか千m足らずの山で遭難するかと思いますが、年々増えています。これらの事件の背景

には安易な思いがあったのかも知れません。これらについてどのように分析され、そしてどう対策を取ろうとしていますか。

担当理事

遭難される方は登山歴が長いと聞いています。原因としては、子ノ泊山は標高も低く、登山する時間が短いという判断のもと安易な気持ちで、ウォーキング感覚で登っていると思われます。もう一つの原因は、登山者が持っている地図は簡単なもので道に迷い重大な遭難事故となっていると思われます。

担当課長

対策についてですが、遭難事故のあと、9月8日に紀宝警察署、熊野市消防本部、熊野市、紀宝町が集まり「子ノ泊山事故防止連絡会議」を開催し、対策について協議しています。内容は案内看板の再点検、目印テープの再点検、方向性の記入等。また携帯電話の通話エリアの確認も今後していくこと。地図の一元化をし、各登山口に置きます。町としてもホームページで「子ノ泊山へ登山される方へ」と題して啓発を行っています。

ます。

議員

今説明を受けた中で残念に思う点がございます。かつて近隣の山へ新宮のグループが登って一人が帰って来ないということがありました。その時、グループの方が、はぐれたと思われる場所を説明してくれましたが、地元でも、町の地図でもその地名はなく、知りませんでした。説明から推測してくれたのは猟友会の方でした。情報の共有ということで旧紀宝町の時でしたが、登山される方々の地図と町の地図を整合してほしい旨、申し入れました。でもそれさえされなかったのではなにかと思われます。議会での発言はもっと真摯に受け止めていただきたい。そして今山を一番知っているのは猟友会の方々ではないかと思えます。一番有効な方法は何かをしっかりと考えていただきたい。昨日でしたか、子ノ泊山はあまり雪が降らないと言っていました。結構積もりまですよ。決して甘く見ないでください。今後一人も悲しい死を迎える方がいないように対策を取っていただきますよう

に。



矢熊 達雄 議員
本町における県道について
・庁舎統合について

— 本町における県道

議員

本町の県道、紀宝川瀬線、鵜殿熊野線、小船紀宝線の三路線の進捗状況をお聞きました。

担当課長

平成19年4月1日現在、幅員5・5メートル以上の道路改良率としては、紀宝川瀬線59・6%、鵜殿熊野線80・0%、小船紀宝線19・5%です。小船紀宝線については県内平均67・4%を大きく下回っています。平成15年10



第3回定例会

泊まで自動車専用道路が供用開始が言われているが、地域間や自治体間の連絡道路である県道の整備がなされていないと、有効に自動車専用道路を利用できないが町として県道に対する要望はどのようにされているのか。

担当課長

小船紀宝線については、ここ数年落石、路側崩壊などで通行止めが行なわれており、当町区間の浅里～鮎田間についても迂回路が林道桐原浅里線しかなく、地域の住民の皆様にご迷惑をおかけしています。「新道路整備戦略」策定の平成15年当時と比べますと、熊野古道の世界遺産登録により、地域の活性化が図られ、観光による利用もあり、車両の通行量は増加しているが、狭隘な部分や見通しの悪いところもあります。早期着手にむけて引き続き要望をしていきます。紀宝川瀬線、鵜殿熊野線についても要望していきます。

議員

町として県道整備の見通しは。

担当課長

今のところ状況については

わかりませんが、新道路整備戦略が県において見直し等が行われるということなので、今後も引き続き要望活動を行っていきます。

議員

町として、計画も持って、改修の進捗を早めれるような要望を真剣に訴えていただきたい。この県道三路線について町長はどのような認識をもっているのか。

町長

地域住民の皆様の道路として貢献をしてきたと思っています。生活道路、地域間交流道路、また、防災等を踏まえただなかで、一番大事な道路であろうと思っています。これからもしっかりと県の中において整備を進めていただけるように申し上げていきたい。

議員

是非とも住民の皆様に見えるよう進めていただきたい。

— 庁 舎 統 合 —

議員

庁舎統合に伴う水道課の配置に対する考え方を伺いた

い。

水道課長

現在の水道課の人員体制は休止と開栓業務に1名、経理事務に1名、水道料金収納管理業務に1名、圧送施設点検と水質検査業務に1名、場内の施設点検業務に1名、徴収業務に1名、総括1名の7名体制になっています。漏水修理・施設機械不具合等の対策など、緊急時においては、浄水場に常駐している6名の職員で対応し、管理運営をしています。計画としては、事務所移転に伴い本庁への常勤勤務は6名を考えています。また2名の職員が技術上、浄水場のシステムに精通しており、業務打ち合わせ後、交互に浄水施設及び水質検査等の点検で浄水場にて業務を行う予定です。

議員

水道課というのは、現場優先と思うがこの配置で円滑に水道業務が行われると思うか。

水道課長

庁舎に移転することにより徴収業務、休止・開栓作業、各課との連携、また、住民の方が来庁時に立ち寄って、直接話しをすることもできま

す。

議員

職員全員が浄水場で業務をすることで円滑にできと思うが、メリットは。

水道課長

メリットとしては、各課との連携、住民の皆さんの顔を見ての説明等ができます。

議員

庁舎統合に伴う水道課の職員数について。

町長

水道の運営形態ですが、水道企業団として両町村で運営をされてきて、今日まで大変な効果があったと思いますが、同時に水道事業会計も、先般来いろいろと指摘をいただいています。19年度は18年度に比べて1名減により、損失も軽減されたと思っています。行政においても自助努力をして、効率的な運営をしていくのも大事な問題ではないかと思っています。今、行財政改革で組織機構の改革を来年4月の実施に向け検討をしていただいておりますし、本庁統合に合わせたかたちの中で将来的には、課の統合を図っていかねばと考えています。

議員

先を見通した中でいろいろ考えていくのは必要だが、水道課、産業建設課等は専門的な技術がなければならぬと思う。将来的には課の統合の考え方も出たが、統合して町民の方が不便にならないように考えていただきたい。



榎本 健治 議員

- ・紀宝町への定住対策について
- ・紀宝町の活性化について
- ・子育て支援について
- ・子ども議会について

— 紀宝町定住対策

議員

人口の急激な減少は地域の活力をも急速に減退させます。魅力的な施策によって紀宝町への移住を促し、定住者を増やさなければいけません。

ん。紀宝町の人口増減の推移状況と将来展望をお伺いします。

担当課長

合併時の平成18年10月末の人口は1万2892人、平成20年8月末の人口は1万2513人で、平成18年より379人の減です。将来展望として、特に若年層の定住促進を図る政策により、相対的に老年人口比率の伸びを抑え、年少人口比率を維持することが重要と考えております。

議員

総合計画では平成28年度に人口1万3000人を目標にする設定をしておりますが、年間約150人減少している状況では、達成不可能ではないか。

担当課長

出生者数の減少。転出入においても、転出者の方が50人前後の推移で、多い状況となっております。

議員

今までの定住対策と課題の検証は。

担当課長

景気の落ち込みによる、新築住宅の減少が懸念されますが、この制度の普及を図るた

め、今後、啓発に努めていかなければならないと思います。

議員

団塊の世代の移住対策はどのように行われてきたのか。

担当課長

団塊の世代、地域外の人材の積極的な受け入れは、今のところ行ってはおりません。

議員

行っていない。それで1万3000人達成できますか。

担当課長

20年3月に移住交流研究会を三重県で発足し、空き家・空き農地等を調査し、問題点を精査しながら、対応できる体制づくりを今、始めているところでございます。

議員

そこで人口増対策に絞った紀宝町でのプロジェクトを設置していく必要があるのではないか。

担当課長

町といたしましても今後、各課の連携を組みプロジェクト等も設置し検討をしていく必要があると思っております。

議員

それと働く場の確保と、人

口増対策は密接に関わってくると思いますので、その辺の対策もしっかりと行っていたきたいと思います。次に町有地を宅地造成して若者に提供できないか。

町長

議員ご指摘のように遊休町有地を洗い直して、若者に対する土地の提供を図っていきたいというふうに思っております。早急にやっていきたいというふうに思っております。

— 紀宝町の活性化

議員

紀宝町内の、どのお店でも（例えば、食料品・ガソリン・床屋など）何にでも使用できる共通商品券等を開発して、町内の消費を伸ばし地域を活性化できないか。

担当課長

共通商品券の発行については、新たな視点から、その仕組みと運営方法、問題点等について研究する必要があると考えております。そのへんについて、商工会事務局と共に、この事業について、勉強会を設置し、検討してまいり

たいと考えております。

議員

商品券を使っているところなどに、活用しているところがありまして、例えば、福島県矢祭町では、介護保険料、水道料、町営住宅の使用料、保育料、幼稚園授業料、また町税のほうでは、町県民税、固定資産税、国民健康保険税、軽自動車税等も支払いができるというふうになっていきます。地方自治法では、納税は現金か有価証券に限るという規定がなされておりますが、職員の方にご苦勞をかけますが、現金に換算するという事務が増えますけれども、クリアできれば、町内での消費の他に、納税というプラスαの効果が期待できると思いますので、是非商工会と勉強会を行って検討していただきたいと思ひます。

— 子育て支援

議員

子育て支援を推進するまち紀宝町として、ファミリーサポートセンターを早期に実現するべきではないか。

担当課長

ファミリーサポートセンターは、地域の子育てと、仕事と介護の両立を応援するものであり、紀宝町が目指す子育て支援の柱のひとつであると考えております。昨年は「学童保育きほっこ」の開設、今年度は療育施設「通園めだか」を開設し、平成21年度から子育て支援センターに引き続きファミリーサポートセンターの運営開始を目指し、準備を進めていきたいと考えております。

子ども議会

議員

人材育成の観点から、町内の小・中学生を対象に、子ども議員を募っていき、町政の仕組みを学び、この町の将来について議論する場を、設けることができます。

教育長

子ども議会でございますが、夏休みに開催したサマースクールの一環として開催できないかと思っております。今後、子ども議会を、この素晴らしい議場の中で、子どもたちに経験する場を検討させていただきます。

議員

未来の有権者である子どもたちに、町政の仕組みを学んでもらうために、一定の成果をなしとげるのではないかと思います。実施できるようにお願いいたします。

※榎本議員の一般質問については、本人のホームページに掲載しています。

(<http://www.anomokenji.com/ipan.htm>)

議会だより表紙の写真を募集します。

例えば、町内の名所旧跡や紹介したいきれいなところ等を、写真におさめて、議会事務局までご持参願います。



可決された議案

- 工事請負契約の締結（道整備交付金事業 町道相野口永田線改良工事）
- 専決処分承認
・ 紀宝町後期高齢者医療に関する条例の一部改正
- 紀宝町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- 人権尊重の町宣言の制定
- 人権が尊重される紀宝町をつくる条例の制定
- 地方公共団体の特定の事務の郵便局における取扱いに関する紀宝町と郵便局株式会社との協定の締結
- 平成20年度一般会計補正予算
- 平成20年度国民健康保険特別会計補正予算
- 平成20年度老人保健特別会計補正予算
- 平成19年度決算の認定
- ・ 一般会計歳入歳出決算
- ・ 国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- ・ 老人保健特別会計歳入歳出決算
- ・ 診療所事業特別会計歳入歳出決算
- ・ 井内地域開発事業特別会計歳入歳出決算
- ・ 水道事業特別会計歳入歳出決算

編集後記

本年も当然のことながら寒い冬を迎えることとなりましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、世界を含め、我が日本国も大変厳しい時代を迎えて久しいのではないのでしょうか。戦後大変な努力の上に経済大国として成長を遂げてきた訳でございます。その上に私たちは立っているものと思います。ただ、余りにも経済での成長が早すぎて失った物も、忘れさられた物も数多くあったのではないのでしょうか。失ったものは心の部分だと思います。人類は心の和をもつて、世界が成り立ち、出発点でもあると思います。世界の中の日本民族は歴史的にも独特な文化の中で歩んできていると思います。経済発展思考の中で、忘れさられた物を今後少しでも大事にして、考え直すかなければ悩める日本にますますなるのではないのでしょうか。紀宝町の発展は心の見直しから始まるものと思います。

（文責 向井）

「議会だより」（第10号）

編集委員・向井 健雅

石垣 憲一・西村 喜久男